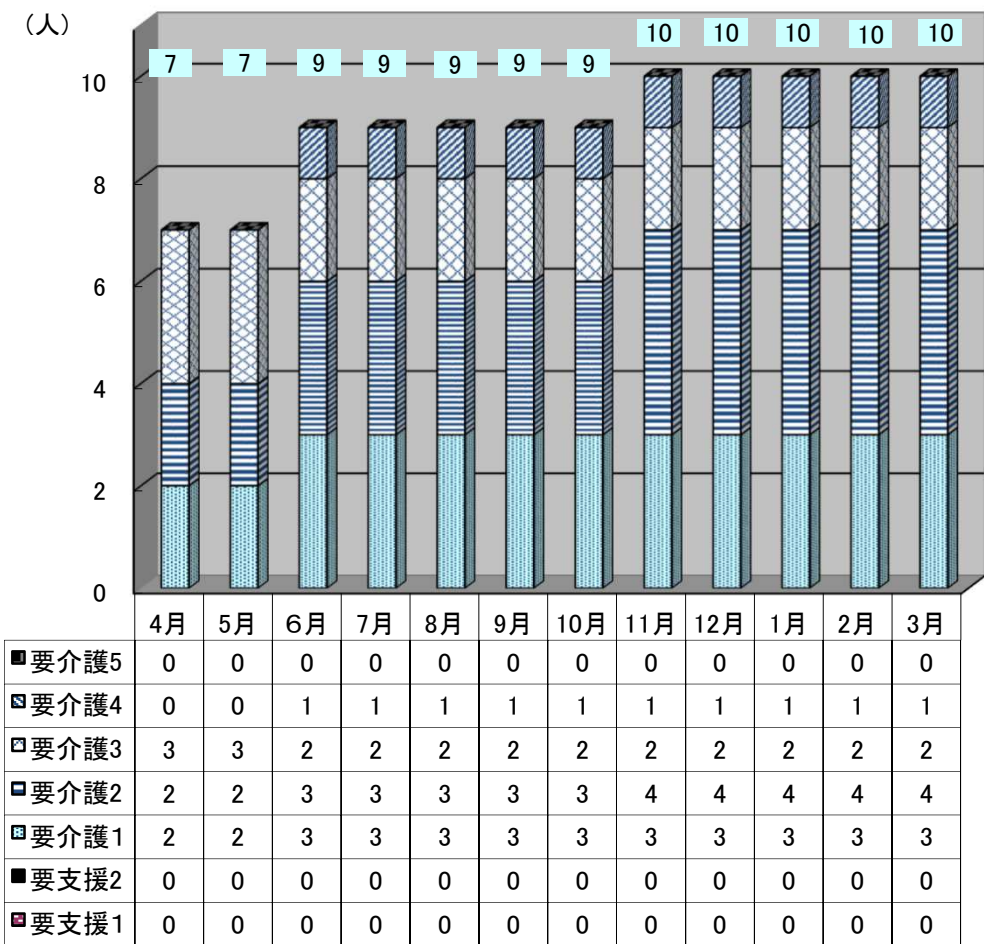


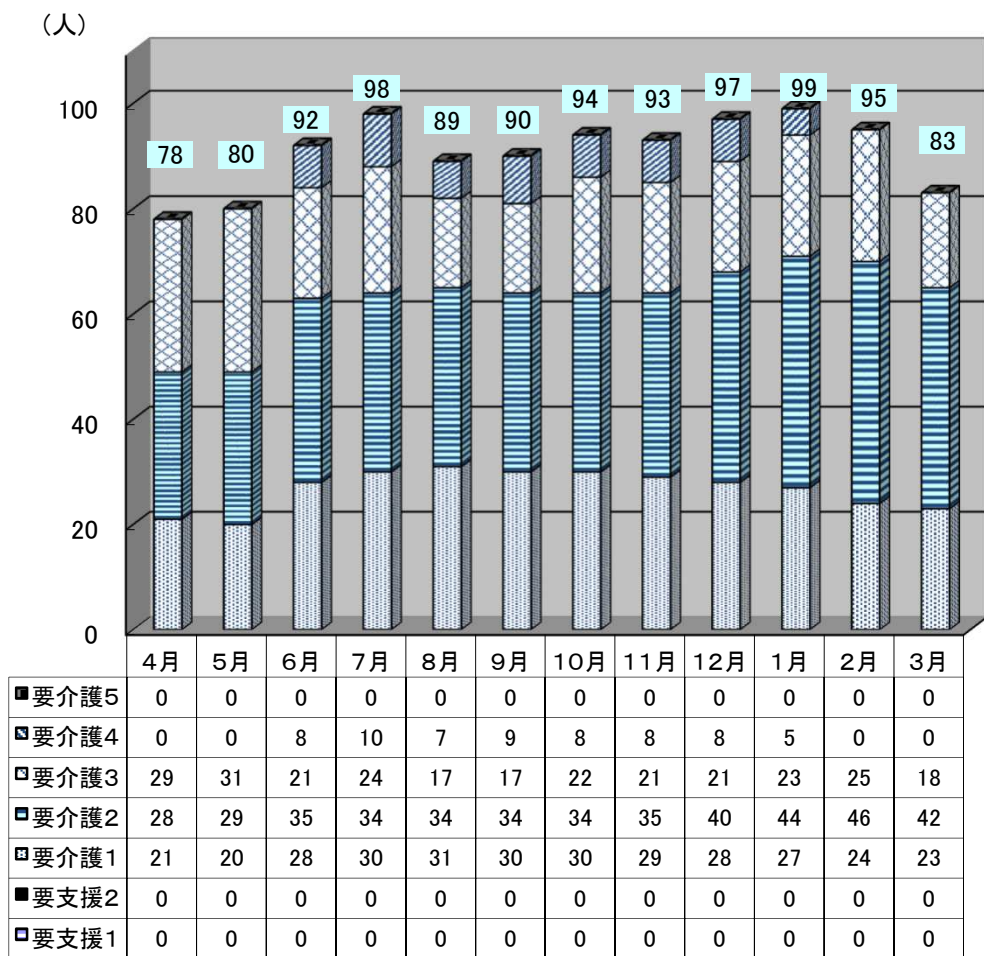
令和5年度 事業報告書

デイサービスセンターやまもも

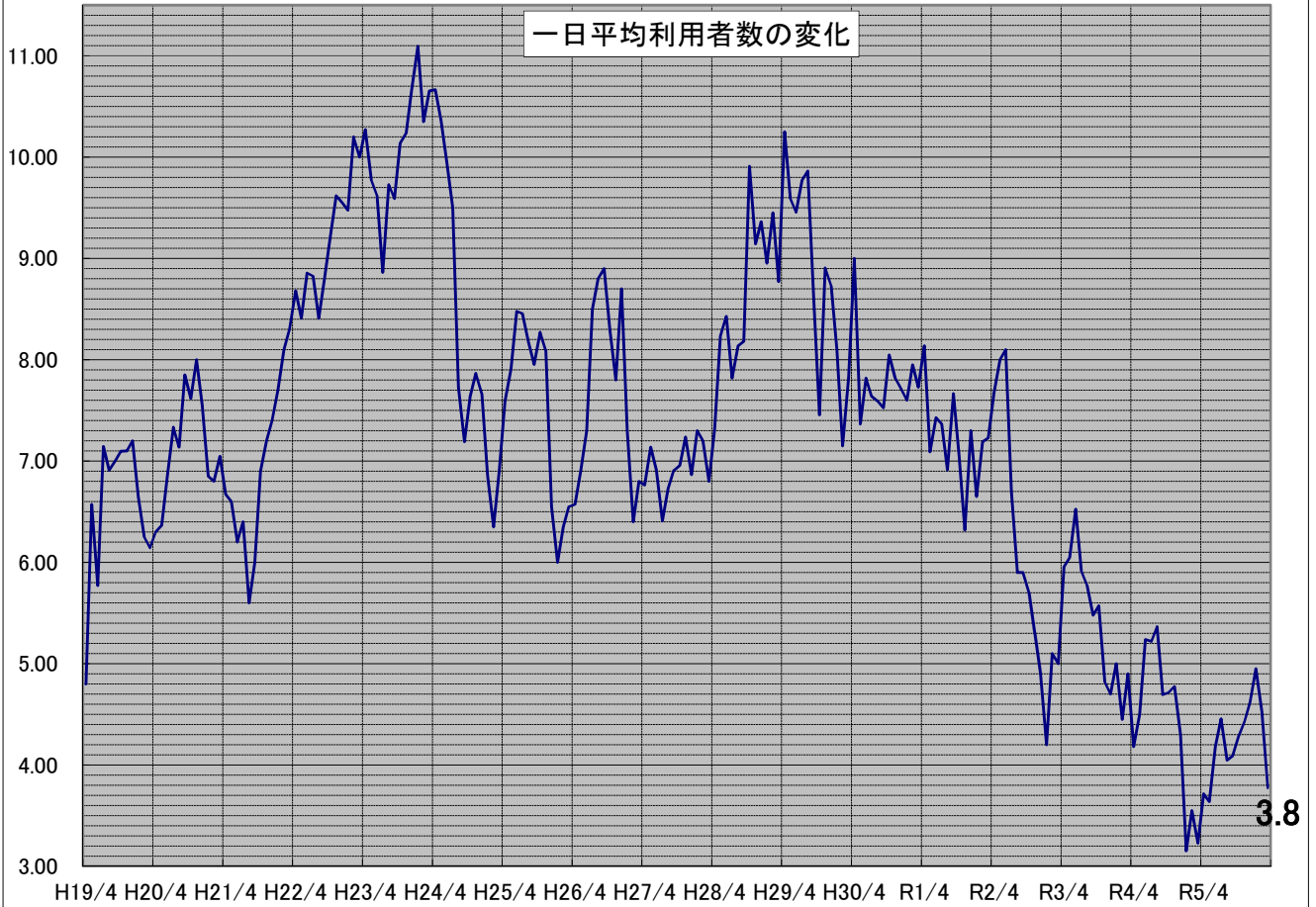
介護度別利用者数



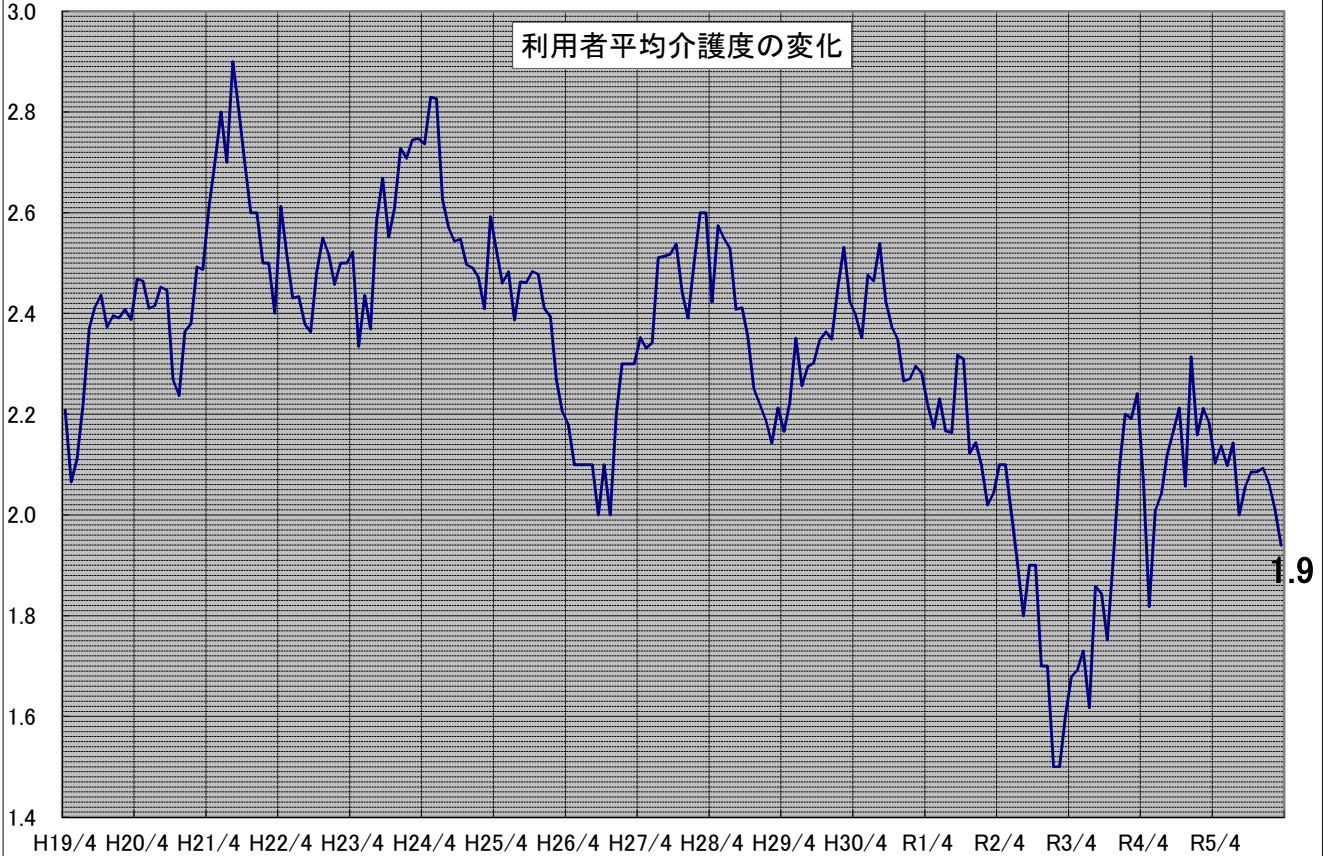
介護度別延利用者数



(人)



介護度



令和5年度事業報告(目標達成状況、自己評価)

●今年度重点目標の達成状況

重点目標	達成状況及び次年度へ向けて
ご利用者との関わりを第一に考え、コミュニケーションをしっかりとっていく。	自分から思いを発信することの難しい方には、寄り添うことによって少しずつなじみの関係が築けるように努めた。利用者同士の会話も減り職員が間に入って繋げていくことも必要となり、話題の提供を行い、利用者同士の関係づくりを支援するように心がけることで、少しずつだが利用者同士の会話も増えてきた。
地域行事への参加や外出、日々の活動を通してご利用者が心の豊かさと健康を保ち「やまももを利用し続けたい。利用を増やしたい。」と提供していただくようなサービスを提供していく。	新型コロナなどの感染症に注意しながら可能な限り地域主催の催しの見学・鑑賞に参加したり、気候の良い日はすすんでドライブや川まで鯉を見に散歩し、気分転換をはかることができた。また室内では利用者が楽しめるレクや体操などを心がけたが利用者数低下の現状は続いている。来年度は明るい雰囲気の中で食事を食べてもらうことを目標とし、食事形態・盛りつけ等を工夫していきたい。

●通所介護サービス評価基準 サービス評価一覧表〈令和5年12月25日 職員会議にて作成〉

● サービス評価項目(一覧表)【凡例】

評価結果	○:実施できている △:実施できているが不十分 ×:実施できていない				
改善の必要性	a:既に着手している	b:早急(本年度中)	c:来年度以降に改善に着手	d:改善の必要性と実現可能性の検討に着手	e:当面、改善に着手しない

● △又は×の評価項目

※NO が太字下線付きの項目は基本項目

NO	評価基準の具体的内容	評価結果	改善の必要性
17	日曜日、その他の休日に対応できる体制ですか。	×	e
20	生きがい対応型デイサービス事業に取り組んでいますか。	×	e
21	身体障害者も対象に含めた相互利用事業に取り組んでいますか。	×	e
59	第三者評価を積極的に受け入れて、必要な業務改善を行っていますか。	×	e
84	職員の調査研究の指導や研究発表を推進していますか。	×	e
87	事業者の意見が、市町村老人保健福祉計画・介護保険事業計画等の行政計画や施策に反映されるように保険者への働きかけに努めていますか	×	e
89	職場体験やボランティア活動体験を行うなど、ボランティアや地域住民を受け入れる機会をつくっていますか。	×	c
90	実習性の受け入れが適切に行われ、福祉人材の養成を行っていますか。	×	d
91	地域での介護教室の開催や、介護者会の参加等、地域等の交流に努めていますか。	×	d

※ 法人・事業所として実施の考えのない項目の評価結果については(×)ではなく、(－)で記載。

	評価結果			改善の必要性				
	○	△	×又は－	a	b	c	d	e
令和 元年度	83	3	5	0	0	3	2	3
令和 2年度	82	2	7	0	1	3	2	3
令和 3年度	81	2	8	0	1	4	1	4
令和 4年度	80	3	8	0	0	5	1	5
令和 5年度	82	0	9	0	0	1	2	6

評価結果“△”+“×又は－”=改善の必要性項目の総数

令和5年度 事業報告(行事活動状況、ボランティア、研修等)

●活動状況報告

行事・活動名	実施日	実施場所	参加利用者	家族・ボランティア等
山野草と多肉植物見学	4月15日(土)	多伎文化伝習館	4名	
遠足	5月25日(木)	花の郷	5名	
かたら団子づくり	6月15日(木)	やまもも	5名	
しょうぶ見学	6月17日(土)	浜遊自然観察広場	5名	
蓮の花見学	7月6日(木)	十楽寺	5名	
七夕会	7月11日(火)	やまもも	4名	
ひまわり見学	8月5日(土)	下古志町	4名	
おはぎづくり	9月12日(火)	やまもも	5名	
書道展見学	9月18日(月)	多伎文化伝習館	4名	
田儀祭見学	10月19日(土)	施設構内	5名	
運動会	10月23日(月)	やまもも	6名	
防災訓練	11月7日(火)	参加者:利用者4名, 職員4名		
紅葉見学ドライブ	11月9日(木)	大田市三瓶方面	5名	
	23日(木)	浄善寺	4名	
クリスマス会	12月25日(月)	やまもも	6名	
	26日(火)		5名	
初詣	1月9日(火)	多岐神社	5名	
	11日(木)	物部神社	7名	
節分会	2月3日(土)	やまもも	5名	
こども園作品展見学	2月10日(土)	多伎文化伝習館	5名	
竹細工・わら工房見学	2月23日(土)	多伎文化伝習館	5名	
ひな祭り	3月4日(月)	やまもも	5名	
消防避難訓練	3月14日(木)	参加者:利用者6名, 職員2名		
ぼた餅づくり	3月21日(木)	やまもも	5名	

※演芸グループの訪問依頼や、こども園との交流などは実施しなかった

●ボランティア等

※『社会福祉法人多伎の郷 新型コロナウイルス感染症の基本対応』に沿って、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和5年度もすべてのボランティアの受け入れを中止した。

●苦情対応

苦情件数	なし
------	----

●その他

広報活動	機関誌の発行2回
------	----------

●研修実施状況

1.事業所内研修

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数
4月	コロナ発生時の対応及び研修	介護職員	全職種	3名	1日
5月	感染症の予防及び蔓延防止の研修、嘔吐時の適切な処理方法の訓練	看護職員	全職種	5名	1日
8月	認知症の研修	介護職員	全職種	3名	1日
9月	利用契約・重要事項説明研修	潮風苑施設長	生活相談員	2名	1日
10月	リスクマネジメントの研修	看護職員	全職種	3名	1日
12月	虐待防止の研修	介護職員	全職種	3名	1日

2.外部研修、集団指導

実施月	研修会名	講師	参加職種	参加人数	日数
2月	認知症の人の権利擁護と意見決定支援	吉川悠貴	介護職員	1名	1日
3月	出雲市介護保険サービス事業団集団指導	市高齢者福祉課	所長	1名	1日

デイサービスセンターやまもも 運営推進会議

開催回数	開催場所	出席者	会議の内容		
2回	・グループホーム はなんぼの里	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議委員 〔 ・家族代表2名 ・地域住民の代表2名 ・高齢者あんしん支援センター職員 ・はなんぼの里施設長(やまもも所長) ・潮風苑施設長 〕 ●やまもも生活相談員 	毎回	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者状況報告 ・活動状況報告 ・行事予定について ・意見交換 	
			随時	<table border="1"> <tr> <td>5月</td> <td>・令和4年度事業報告について</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>・次年度事業について</td> </tr> </table>	5月
5月	・令和4年度事業報告について				
1月	・次年度事業について				

◎ 報告書概要（会議の内容）

（令和5年度）

会議の内容…評価、要望、意見、助言等	
5 月 23 日	<p>○ 家族の代表より</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、ボランティアの受入れはどうなりましたか。職員だけでは大変なことが多いので、ボランティアに入ってもらいたいことも多いかと思いますが。</p> <p>⇒ 施設より</p> <p>ボランティアの受入れについては法人として対応を決めました。まだ感染が心配な面もあるので、当面は施設外でのボランティア活動に限定して受け入れさせていただくということにしています。窓洗いや草刈り作業といった戸外の利用者に関わることのない活動に限定されます。</p> <p>○ 地域住民の代表より</p> <p>事業報告等を聞いて全体として感じた印象を述べさせていただきます。新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した時の対応にしても日々の活動や職員の対応にしても、起こったことを否定的に捉えるのではなく、何事も次に活かしていこうという前向きな姿勢が感じられました。</p> <p>○ 家族の代表より</p> <p>やまももの利用定員は何人ですか。</p> <p>⇒ 施設より</p> <p>12名です。</p> <p>⇒ 家族の代表より</p> <p>本人は現在週3回利用させてもらっており、利用時は職員が持ち上げてくれるのでとてもいい気分で利用させてもらっています。しかし、最初は利用するのに抵抗があったようです。サービスを利用する際の最初の対応が利用に結びつくかどうかの鍵となるのではないのでしょうか。</p> <p>⇒ 施設より</p> <p>少しでも利用される方を増やしたいということで、4月に入ってから市内の居宅介護支援事業所や病院などにお願いに回りました。空き情報のファックスも送っていますが、なかなかすぐに利用者が増えるということにはなりません。回った時に聞いた情報として、市内のデイサービスはどれも利用者が減っているということでした。多伎町の一番端っこのなかかなか難しいです。</p> <p>利用してみようかと思われる方に対しては見学やお試し利用をしていただいて、少しでも抵抗感がなくなるようにしていきたいと思います。</p> <p>⇒ あんしん支援センターより</p> <p>デイサービスセンターの利用に関しては、食事や入浴のサービスを最小限もしくは提供しない、また費用負担も安価で短時間のリハビリ特化型のデイの利用は増えているようです。やまももの現状は利用者地域の方々にも情報提供させていただきます。</p>

1
月
25
日

○ **高齢者あんしん支援センターより**

コロナやインフルエンザの感染状況はどうか。

⇒ **施設より**

最近の利用者でコロナやインフルエンザに感染された方はおられません。職員が感染したり、家族が感染して濃厚接触者扱いとして仕事を休むということは時々あります。

現在、風邪が流行って感染対応を行っているところです。昨日からは面会もお断りしているような状況です。

○ **地域住民の代表より**

正月に能登で地震・津波が発生しましたが、ここでは何か対応されたことがありますか。

⇒ **施設より**

結果的に何も被害はありませんでしたが、津波注意報が出ていたのでずっと情報を確認して必要があれば対応しなければと待機していました。改めて他人事ではないと思いました。

⇒ **高齢者あんしん支援センターより**

ご家族から心配（安否確認）の電話はありませんでしたか。

⇒ **施設より**

ありませんでした。

○ **高齢者あんしん支援センターより**

ご利用者やご家族はやまももを利用してどう感じておられますか。

⇒ **家族の代表より**

本人はとても喜んで利用しています。今月からは利用日を一日増やしてもらいました。

⇒ **高齢者あんしん支援センターより**

そもそもどういった理由でやまももを選ばれたのですか。

⇒ **家族の代表より**

最初はケアマネさんからの紹介があったからです。場所が近いということもあります。

⇒ **高齢者あんしん支援センターより**

最初に通われる時、本人は納得しておられましたか。

⇒ **家族の代表より**

よくわかっていない様子でしたので、病院の先生が行きなさいと言われたから行くようにと言いました。でも結果楽しく通っておりとても良かったと思います。

⇒ **施設より**

自宅だと本人がしたいとかしようとされても危ないなどと言って止めたりさせなかったりということは結構あると思います。家ではできないけどやまももに来ればできそうだということがあればやまももで取り組んでいきたいと思います。そのようなことがあれば是非教えてください。ご利用者自身はやってみたい、人の役に立つことをしたいということが沢山あると思います。それがやまももであればと思います。

●次年度事業について

○ 施設より

令和6年度報酬改定の案が出ており、今回はどの事業も4月からの介護報酬単価が高くなっており、それに伴って原則一割負担の利用料も高くなります。決定を受け、3月後半には利用料変更の説明文等を送ります。また、今回の報酬改定では6月から処遇改善加算が変更され、こちらも介護職員の処遇改善のため加算率が高くなっています。同様に利用料も高くなるので、5月後半には再度利用料変更の説明文等を送らせていただくことになりますので、ご了承ください。

また、令和6年度報酬改定では報酬額だけでなく制度改正も行われます。前回報酬改定の際に経過措置となっていた災害対策や感染対策の研修・訓練なども4月からは義務化となります。法人・事業所として必要な対応を行っていかねばなりません。

○ 地域住民の代表より

ボランティアの受入れはどうなっていますか。

⇒ 施設より

コロナ以前は年2回地域住民の方やご家族に窓洗いボランティアをしていただいていたいました。これは直接利用者と接触しない活動なので次年度はお願いしたいと考えています。ご協力をお願いいたします。以前は平日に行っていましたが土日しか仕事が休めず都合がつかないという方もおられるので実施する際の曜日は検討していきたいと思います。

他のボランティアについても、まずは利用者との接触が少ない活動のボランティアからお願いしていきたいと考えています。法人内では、ボランティアの問い合わせが多いこども園については対象が高齢者よりリスクの低い園児であるということもふまえ、特定で少人数のボランティアの方の受入れから行っていくことを始めています。コロナによる重症化リスクの低減化がすめば同様にしていきたいと考えています。

1
月
2
5
日

○ 施設より

災害対策に関して、はなんばの里とやまももは福祉避難所として指定されています。近隣住民の方の中で支援を要する方が避難される場合は受入れを行うことになります。今まで一度もそのようなことはありませんでしたが、受入れをする場合は食堂ホールや廊下を利用していただくようになると思います。その際、どのような物資等があればいいのかアドバイスいただければと思います。現段階では、施設としては、利用者の3日分の食糧等を準備するのがやっとですが、いざという時は行政と一緒に対応していかなければならないことだと思っています。

⇒ 高齢者あんしん支援センター・地域住民の代表より

何があればいいのかはすぐには思いつきませんが、前もって行政が中心になって計画していくことですね。説明の中で、一般の避難所にいた人の中で、支援が必要な方がいけば福祉避難所に移るということでしたが、支援が必要であることが分かっている人は最初から福祉避難所に行くことはできないのですか。

⇒ 施設より

事前に直接避難の登録を行った要支援者の方は福祉避難所に避難が可能だそうです。災害時に必要な物資の準備も含めて、福祉避難所の設置・運営については出雲市と各法人・施設が協定にむけて協議中です。いろいろとアドバイスいただければと思いますのでよろしくお願いたします。